



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	14,894	18.9	802	10.3	877	19.2	548	△2.6
2022年9月期第3四半期	12,526	20.8	727	92.9	735	82.9	563	127.6

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 438百万円(△42.0%) 2022年9月期第3四半期 756百万円(126.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	41.53	—
2022年9月期第3四半期	42.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	15,295	6,286	40.5
2022年9月期	14,757	5,980	39.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 6,202百万円 2022年9月期 5,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年9月期	—	5.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2023年8月10日)公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	19,600	13.4	770	21.3	820	33.0	490	△4.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年8月10日)公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	13,410,000株	2022年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	200,227株	2022年9月期	200,227株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	13,209,773株	2022年9月期3Q	13,209,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年10月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類に移行されるなど行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み商流は回復傾向となりました。一方、ロシア・ウクライナ情勢等によるエネルギー価格上昇に伴う原材料価格への影響や為替の円安傾向、人手不足による人件費の高騰から企業経営を取り巻く環境は引き続き厳しく、世界的な金融引き締め継続に伴い海外では金融機関が破綻するなど世界景気の下振れがわが国経済へ与える影響も懸念される中で、先行きは不透明な状況で推移しております。

当連結会計年度は、ここ数年推進してきました一連の施策(販売先と商品アイテム数の選択と集中、「粧美堂(SHOBIDO)」の真のメーカー化、ニッチカテゴリーにおけるシェアNo.1商品の開発ならびにシェア獲得施策)を継続して推進しております。また、SNSなどの普及によりメーカーと個人(消費者)が直接コミュニケーションを取ることが一般化してきていることを踏まえて、従来から進めております自社メディア育成をより強化しています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会が正常化に向かったことや戦略的に進めてきた重点販売先に対する営業強化が引き続き奏功し、対前年同期比18.9%増の14,894,154千円となり売上総利益額は3,994,654千円と対前年同期比8.0%増となりました。同利益率は、円安の影響により海外生産の自社企画商品の売上原価が上昇したことを受けて一部の商品は価格の引き上げを行いました。表面的な利益率は低いものの受注生産のため返品がなく安定的かつ効率的に利益が残せるOEM商品の売上が大幅に伸びたことなどを主因に26.8%と対前年同期比2.7ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、売上高が大幅に伸びたことに伴い販売促進費、物流費などが増加した結果、対前年同期比7.5%増の3,192,328千円となったものの、売上高の増加によりコストアップ要因を跳ね返し営業利益は対前年同期比10.3%増の802,325千円となりました。経常利益は為替差益が増加したことなどにより、対前年同期比19.2%増の877,006千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は548,614千円(対前年同期比2.6%減)となりました。なお、第1四半期に締結した為替デリバティブ取引が当第3四半期に満期を迎えたことにより、営業外費用に計上していた時価評価に伴う評価損を戻し入れております。

当第3四半期連結累計期間は前年比で大幅に円安が進行し売上原価が高騰する中で、ここ数年継続して行ってきた選択と集中(取扱い商品数と販売先)、仕入れ商品から自社企画商品への切替、固定費圧縮、組織の大幅刷新による意思決定の迅速化、人事報酬制度の見直しを中心とした経営基盤の強化により営業利益、経常利益ともに増益を確保することができました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧品・化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の外出機会が増加したことや重点販売先への営業強化の成果が実り、化粧品・化粧雑貨全般が前期に引き続き好調に推移しました。注力カテゴリーであるネイルケア・ネイルアート・前髪関連商材を中心としたヘアケア、ヘアアクセサリー、マーケティング戦略が奏功した二重まぶた用化粧品、キッズコスメなどが順調に推移し10,098,168千円(対前年同期比18.3%増)と大幅増収となりました。

②コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内市場では増収を確保したものの中国市場でのロックダウンの影響や現地メーカーとの競争激化により1,811,132千円(対前年同期比2.8%減)となりました。

③服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、重点販売先に対するキャラクターをあしらった小物類の売上などが好調に推移し2,040,654千円（対前年同期比54.5%増）と増収となりました。

④その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、消費者の消費生活の正常化などから、944,198千円（対前年同期比17.5%増）と増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて537,666千円増加し、15,295,617千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて611,494千円増加し、12,095,154千円となりました。

これは主に、商品及び製品が572,989千円、その他が690,966千円増加したことに対し、現金及び預金が410,338千円、受取手形及び売掛金が164,355千円、為替予約が120,242千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて73,828千円減少し、3,200,462千円となりました。

これは主に、有形固定資産のその他が72,945千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて231,547千円増加し、9,009,359千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて511,215千円増加し、5,541,950千円となりました。

これは主に、短期借入金が800,000千円増加したことに対し、1年内返済予定の長期借入金が98,000千円、その他が127,150千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて279,667千円減少し、3,467,408千円となりました。

これは主に、長期借入金が275,500千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて306,119千円増加し、6,286,257千円となりました。

これは主に、利益剰余金が416,516千円増加したことに対し、繰延ヘッジ損益が97,379千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2023年9月期 第2四半期決算短信記載の「2023年9月期の連結業績予想」の修正を行っております。また、連結業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年8月10日）公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,541,749	5,131,410
受取手形及び売掛金	3,535,885	3,371,529
商品及び製品	1,389,679	1,962,669
原材料及び貯蔵品	163,280	205,354
為替予約	660,040	539,798
その他	194,325	885,292
貸倒引当金	△1,300	△900
流動資産合計	11,483,660	12,095,154
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,152,053	1,079,107
有形固定資産合計	2,459,946	2,387,000
無形固定資産		
のれん	230,472	208,865
その他	31,500	26,323
無形固定資産合計	261,972	235,189
投資その他の資産		
投資有価証券	188,867	208,972
その他	366,323	369,804
貸倒引当金	△2,819	△505
投資その他の資産合計	552,370	578,272
固定資産合計	3,274,290	3,200,462
資産合計	14,757,950	15,295,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,687	2,022,855
短期借入金	100,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,812,000	1,714,000
未払法人税等	201,180	224,125
賞与引当金	133,857	68,109
その他	740,010	612,860
流動負債合計	5,030,735	5,541,950
固定負債		
長期借入金	3,267,500	2,992,000
役員退職慰労引当金	115,650	124,875
資産除去債務	70,717	71,135
その他	293,208	279,398
固定負債合計	3,747,076	3,467,408
負債合計	8,777,811	9,009,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,549,231	4,965,747
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,277,972	5,694,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,535	57,688
繰延ヘッジ損益	436,744	339,364
為替換算調整勘定	131,899	110,486
その他の包括利益累計額合計	613,178	507,539
非支配株主持分	88,987	84,229
純資産合計	5,980,138	6,286,257
負債純資産合計	14,757,950	15,295,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	12,526,486	14,894,154
売上原価	8,828,612	10,899,500
売上総利益	3,697,873	3,994,654
販売費及び一般管理費	2,970,218	3,192,328
営業利益	727,655	802,325
営業外収益		
受取利息	7,219	14,351
受取配当金	4,314	4,496
受取手数料	5,526	5,948
不動産賃貸収入	38,849	7,920
為替差益	22,484	60,987
その他	2,047	12,536
営業外収益合計	80,442	106,240
営業外費用		
支払利息	16,890	18,956
不動産賃貸費用	34,668	2,312
事業所閉鎖損失	19,381	—
賃貸借契約解約損	—	6,530
その他	1,165	3,760
営業外費用合計	72,105	31,559
経常利益	735,993	877,006
特別利益		
固定資産売却益	192,199	—
特別利益合計	192,199	—
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	29,881	—
特別損失合計	29,881	—
税金等調整前四半期純利益	898,311	877,006
法人税、住民税及び事業税	284,241	308,852
法人税等調整額	54,876	20,074
法人税等合計	339,117	328,926
四半期純利益	559,193	548,079
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,855	△534
親会社株主に帰属する四半期純利益	563,049	548,614

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	559,193	548,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,245	13,152
繰延ヘッジ損益	173,697	△97,379
為替換算調整勘定	46,419	△25,636
その他の包括利益合計	196,871	△109,862
四半期包括利益	756,065	438,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747,765	442,975
非支配株主に係る四半期包括利益	8,299	△4,758

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。